

その他の事業のその他における機械装置を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	16～ 17	倉庫作業中、映像機材（約20kg）を持ち上げた際、腰に激痛がはしり、急性腰痛を発症した。以降慢性的な腰痛となり、湿布やコルセットを使用し仕事を続けたが、症状が重くなり、腰椎椎間板ヘルニアと診断された。	27	100 ～ 299
2	7・8	観客席設営業務において、スマートシート（移動式観客席）の設置作業中、スマートシートを移動させていたところ、よそ見をしていたことにより、スマートシートの車輪で右足親指を轢き、骨折した。	21	—
3	12・13	本社内にて、納品された計測用機器（ロードセル、約20kg）を持ち上げようとして腰を痛め、暫くすると足先から腫れはじめたため救急搬送された。	43	10 ～ 29
7	10～11	入浴介助中、脱衣場で御利用者様の着脱介助を行っていたところ、床が濡れていたため、滑り転倒した。その際に手を床につき、右肘に痛みが見られ、病院受診の結果、右橈骨頭頸部骨折と診断された。	34	1～ 9
9	13～ 14	WEBサイトに掲載するコンテンツの取材としてポリファニー・デジタルに伺った、テレビゲームを行ってもらうために弊社で用意した撮影用の椅子の足を固定する作業が発生。他に対応できる人がいなかったため重さ約20kgの椅子を高さ20cmの4つの木材に乗せて固定させる作業に従事。膝をつきかがんだ状態や椅子の下に潜り込むような体勢（高さ50～60cm）で20分ほど木材に固定する作業を行ったところ、腰に痛みが走り作業ができない状態となった。その後しばらく様子を見て退社したものの、翌日には立てない状態となったため救急車で搬送、そのまま5日間の入院となった。	30	10 ～ 29

10	11～ 12	事務所前にて、車に作業用の装置（約20kg）を積み込もうとした時に左手が滑って装置が落ちそうになった。持ち替えようとした際、左手首を地面に挟まれ負傷した。少しの痛みを我慢して客先の工場へ向かったが、腫れと痛みが強くなった。	45	1～ 9
12	20～21	出張先にて、コンサート機材の搬入作業中、ステージ上に大きな台を10人ほどで載せようとしていた。ステージの上で引っ張る人、真ん中で持っている人、端から押し上げる人がいて、本人は真ん中にいた。その際に勢いがあり左手をステージとその台の間に挟んでしまった。	25	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html